

RC床版の総合的劣化評価手法



目で見ると
海外論文発表

水谷 大二郎*

Comprehensive Evaluation Method for
Deterioration of RC Slabs

Key Words : asset management, Markov deterioration hazard model,
multinomial distribution, comprehensive deterioration evaluation, life cycle cost analysis

<参加会議名> International Association for Bridge
and Structural Engineering Conference 2015

<開催場所>

International Conference Centre Geneva

<渡航期間> 2015年9月22日から9月26日

<発表タイトル> Comprehensive Evaluation Method
for Deterioration of RC Slabs

スイスのジュネーブで開催された IABSE Conference 2015 に参加致しました。IABSE は 1929 年に創設され、橋梁工学・構造工学の分野では世界で最も長い歴史と伝統を持つ学会です。発表では、インフラのマネジメント（アセットマネジメント）のための、確率・統計的方法論による高速道路橋 RC 床版に対する新たな劣化評価手法を提案し、質疑応答では自然災害リスクを考慮し、交通量の影響をより詳細に劣化評価に結びつけると良いとのご指摘を頂戴しました。

今回の国際会議参加の感想と致しましては、以下のことがあげられます。

◇2年前にも IABSE Conference に参加致しましたが、当時と比べ統計的劣化予測に関する議論が活発になっており、今後の欧州での統計的劣化予測の動向に注視する必要がある点。

◇インフラのアセットマネジメントを取り巻く環境

が日本と海外では全く異なる点。具体的には、日本では、例えば、劣化予測手法が高精度であれば実務にも比較的容易かつ積極的に採用されるが、海外ではアプリケーションをフレームワークとしたマネジメントサイクル自体は既に確立されており、それらの機能を満足しつつ新たな方法論を提案する必要がある（その方法論は既存のアプリケーションとどう違うのかという質問が会議中複数あった）と感じました。

このような考えをもとに日本のアセットマネジメント技術の海外展開にも今後積極的に取り組みたいと考えております。

本発表に関しまして、海外論文発表奨励賞を頂戴したことを大変光栄に存じ、一般社団法人生産技術振興協会様に深謝の意を表します。



提案するリスク管理指標の説明に熱が入っています



重要なアウトプットを具体例を交え説明しています



コーヒープレイクでは
人脈構築に必死でした

他のセッションに参加し
議論を行いました



*Daijiro MIZUTANI

1990年2月生

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学
専攻 博士前期課程修了 (2014年)

現在、大阪大学大学院工学研究科地球総
合工学専攻 社会基盤工学コース 社会
システム学講座 社会基盤マネジメント
学領域 博士後期課程2年 修士(工学)
アセットマネジメント

TEL : 06-6879-7622

E-mail : d-mizutani@civil.eng.osaka-u.ac.jp